

放課後等デイサービスぐりお 事業所における自己評価表結果

公表: 令和4年3月18日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			学習と活動の場面を仕切るなどの工夫でわかるなど、子供にとってわかりやすい環境設定を心掛けている。 また、その日の人数によって空間の使い方を工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			個別の療育活動や対応が必要な場合には、職員の動きや自由遊びの内容を工夫し複数を対応できるよう工夫している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々の情報共有は毎日の打ち合わせで共有し、勤務時間の違う職員は引継ぎノートで対応している。 その中での課題等は月例会議で検討・共有を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			いただいた意見に対し、法人と共有し対応できることから、改善に努めていきたい。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価の実施は行っていない。 SVによる外部評価を受け、改善に努めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			各職員の資質向上に対して、法人内外の研修に職員の積極的な参加を促している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			保護者からのご意見等を職員で共有し、本人への課題の設定や、支援のあり方などを分析し個別支援計画に反映している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			保護者からの聞き取りを丁寧に行い、事業所のシートに反映している。

適切な支援の提供	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		本人の状態に焦点を絞ってしまうことが多く、家族支援や地域支援など、本人を取り巻く全体をしっかりと把握できなかった。 →学校や家族など、より連携を密にとりながら、本人を取り巻く環境の把握に努めていきたい。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画の共有を図っているが、定期的な内容の見直しを行っている。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担当者の立案に対して、それぞれの職員が意見を出し合ったり、実際に行っていく中で改善すべき点はその都度変更していくようにしている。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		基本的には集団活動に対する計画を立てており、個別に必要な場合は、その内容も取り入れている。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日の打ち合わせの中で、実施している。勤務時間の違う非常勤職員とも日誌を通じて共有している。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		//
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日記のようにならないよう、本人の行動やそれに対する対応、それによってどう改善したかなどの、記入しておくべきポイントの記載を促している。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		作成に時間がかかり、実施時期が遅れてしまうため、計画的な実施と面談の調整が必要。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			当事業所には該当者はいない。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			//

関係機関や保護者との連携	②4	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		保護者のからの希望があれば、園との連携も可能。
	②5	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			放課後等デイサービスのため、就学してから個別のケースを通じて連携している。
	②6	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			放課後等デイサービスへ利用希望があった際に、保護者の同意を得ながら、児童発達支援事業所と情報共有や連携がとれている。
	②7	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				
	②8	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			開催される協議会関係の活動には参加している。
	②9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		送迎の際に様子を伝えたり、連絡ノートでのやりとりや、気になることは直接電話連絡をしているが、十分とは言えない。 個別支援計画の説明時など、ゆっくり時間をとって共有できる場面が必要と感じている。
③0	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○		保護者からの相談には、なるべく具体的に答えたり、相談しやすい環境を心掛けている。	
保護者への説明責任等	③1	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③2	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	③3	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		保護者からの相談には、なるべく的確に助言や支援を行うよう心掛けているが、まだ職員の力不足もあり十分とはいえない。
	③4	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者の方のいろいろな思いや考え方を考慮して実施していないが、どのような形で実施できるかなど、ご意見をいただく場を検討していく。

保護者への説明責任等	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			できるだけ迅速な対応を心掛けているが、申し入れやご意見を気軽にできる環境を整えていきたい。
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	会報などの配布ができていない。今後、作成に向けて検討していきたい。
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	具体的な行事や活動には、個人情報の関係上、参加してもらう機会は設けていないが、機能を知ってもらう機会として法人内の施設を提供等を行っている。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			各種マニュアルを作成し、職員に周知しているが、保護者の方への周知が不十分。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練や防災に対する勉強会などを行った。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			利用契約時にアレルギーや持病などの確認を行っている。また、普段からの体調不良等について、情報共有に努めている。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書がある場合は、保護者から情報提供をいただいている。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			小さな出来事でも、なるべくヒヤリハットを作成するよう、職員に周知し未然に事故防止を心掛ける意識をつけるようにしている。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年1回、職員に向けて研修を実施している。また、日頃から話し方や接し方など、第三者から見た印象への注意も心掛けるよう周知している。
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			虐待防止研修の中で、情報共有を行っている。